

J. Appl. Cryst. の発刊に際して

上 田 良 二*

Journal of Applied Crystallography が発行されていることは、すでに会員の皆様が御存知のことと思います。これは国際結晶学連合の機関誌 Acta Crystallographica の姉妹誌として、1968年4月に創刊されたものです。元来、アクタは結晶学全般の雑誌でしたが、何れかといえば純学問的な論文が多く、応用的なものが少なかったので、今回のジャーナルはその広い応用範囲のために創刊されたものです。

私が数年前に「結晶学会の健全な発展のために」と題して、この欄に書いたことがあります。私がそこで主張したかったことは、「学会が健全な発展をとげるためには、純学問的な水準が高いだけでは不十分で、そのすそ野の応用分野によって、しっかり支えられていなければならない」ということでした。同じような意味で、このジャーナルの創刊は誠に喜ばしいことと思います。

日本結晶学会は現在のところ、日本文の会誌を発行しているだけで、欧文誌を持っていません。それにはいろいろの理由があるわけでしょうが、私は次のように考えています。日本結晶学会のような小さな学会が欧文誌を出すと、経済的にも事務的にも負担が大きく、発行の回数が少なくなり（例えば年4回以下）、投稿者に不便になります。他方、会員の大部分は他の学会、例えば鉱物学会、化学会、物理学会等に属しているので、それぞれの学会を通じて欧文の論文を発表することができます。しかし、どうしても結晶学という広場で発表したい場合には、国際誌のアクタを利用することができるのです。

ところが、アクタは最初に述べたように、純学問的な傾向が強いので、応用的なものを投稿するには躊躇せざるをえませんでした。また、アクタは投稿から出版までにかかなり長い時間が必要でした。これに反し、新しいジャーナルは、応用的なもの、また実験技術や装置に関するものを目標としており、出版までの時間も、アクタより早くなっていると思います。現在、私が日本の co-editor をお引き受けしていますので、会員諸氏からの積極的な投稿をお待ちしています。** このジャーナルに、日本の良い論文が多数掲載されることは、日本の結晶学の健全な発展を示すものと思います。

* 名古屋大学工学部

¹⁾ 会誌, 4 (1962), 1

** 投稿の方法について疑問のある方は御遠慮なく上田宛お問い合わせ下さい。